

会長挨拶

平成22年度社団法人日本エスコフィエ協会総会・晩餐会に、ご多忙にもかかわらず会員の皆様には多数ご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、駐日フランス経済公使ルイ・ミシェル・モリスご夫妻、並びに、賛助会員、協賛企業の皆様にもご臨席賜りまして厚く御礼を申し上げます。

本日の講演には宇田川悟氏をお招きし、フランス料理界の大先輩であるお二人、初代会長・小野正吉氏、二代目会長村上信夫氏について大変貴重なお話を伺い会員の皆様も感銘を受けられたと思います。この感激を忘れずに、これからもフランス料理の発展、研鑽に努めていただきたいと思います。

本日は112名の会員がディシプルに昇格され、先ほどディプロムが授与されました。新ディシプルの皆様、おめでとうございます。どうぞこれからも日本エスコフィエ協会のディシプルとしての誇りと自覚を持って、フランス料理の発展と普及、食文化、食育を育むとともに、若い料理人たちの技術の指導、人材育成により一層努めていただきたいと思います。

2007年、合衆国サブプライムローンに端を発し、世界に経済危機を招いた大不況、最近ではギリシヤの経済破綻と景気の低迷は依然として続いております。会員の皆様もこうした状況下に大変ご苦労なさっていると思います。先ほど総会で説明がございましたように事業担当役員、地区委員の皆様のご協力により、広告クライアントの獲得など、事業活性のために積極的に活動を続けております。

特に本年は、日本エスコフィエ協会が隔年に行っております料理コンクールの開催年にあたり、ご協賛いただいております各企業の皆様のためにも、ぜひ成功を収めたいと8月25日決勝に向けて準備を進めております。

2008年に施行されました新公益法人制度の改定により、5年以内の移行が義務付けられていることは、既に皆様ご承知のことと思います。昨年総会において、私達日本エスコフィエ協会は一般社団法人へ移行することを皆様にご賛同いただき決定いたしました。現在、担当役員、公認会計士、行政からの指導を受けながら移行の認定手続きを進めております。その根幹となります定款を基に規約の整備、活動内容の確認など、資料を十分に整えまして再度本年の総会で皆様のご賛同を得るにいたりました。3年目にあたる来年には移行の申請を行うことができると考えております。

社会状況はまだまだ厳しさが続くことと思いますが、日本エスコフィエ協会は会員の皆様と共にこの難局を乗り切るべく全力を尽くして参ります。今後とも一層のご協力をお願いいたします。

本日は、ここホテルニューオータニで伊佐最高料理顧問の下でおいしいお料理をご用意いただいております。どうぞごゆっくりお楽しみください。最後になりますが、皆様のご健勝、ご活躍、ますますのご発展を祈り、開会の挨拶とさせていただきます。

社団法人日本エスコフィエ協会
会長 浅野和夫